

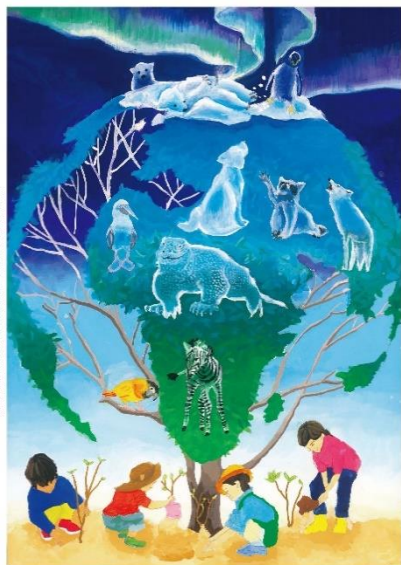
～エコな風だより～

福山市リサイクルプラザ

福山市 経済環境局 環境部 環境啓発課 TEL084-954-2619 FAX084-954-4418

環境月間

6月は環境月間です



自然を育めば
動物たちが
生き生きできる

令和3年6月1日▶6月30日



6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（1993年）で「環境の日」を定めています。

また、1991年度から6月の1ヶ月間を「環境月間」としています。6月中は全国各地で様々な行事・事業が行われます。ぜひ行事・事業を通じて、環境のことを考えてみてください。

福山市では市民、企業などの事業者、行政の三者が、よりよい環境を実現するため、将来に向けて取り組んでいくための長期的な共通目標として、3つの目標を定めることにより、持続可能な社会の実現をめざします。 第二次福山市環境基本計画

《めざす環境像》

みんなで創り

- 市民参加型の計画であることを表現しています。
- これまでの「協働」の取組を更に深めるとともに、市民や事業者など多様な主体と連携して、環境問題に取り組んでいく姿を「みんなで創り」と表しています。

未来につなぐ

- 大人も子どもも環境意識を持って積極的に参加したくなるようなイメージとしています。
- 環境基本条例の基本理念で示されている「健全で恵み豊かな環境の将来の世代への継承」を表しています。

豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち

- 市の豊かな自然環境や生き物を大切に、環境問題に積極的に取り組むことで、経済のほか、健康や福祉などの社会的課題も同時に解決されたまちの姿を表しています。
- 「調和」は、第一次計画の望ましい環境像の考え方を受け継いでいます。

みんなで創り 未来につなぐ
豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 福山
～持続可能な社会の実現をめざして～



「SDGs（エスディーゼズ）」 政府や自治体をはじめ、近年では企業や大学が積極的に取り組んでいることもあり、一度は目にした・耳にしたことがあると思います。

「Sustainable Development Goals」の省略であり、日本語で持続可能な開発目標という意味になります。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために国連加盟193カ国すべてが合意する世界共通の目標です。これは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載され、17のゴール（大きな目標）と169のターゲット（具体化した目標）から構成されています。

てが合意する世界共通の目標です。これは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載され、17のゴール（大きな目標）と169のターゲット（具体化した目標）から構成されています。

SDGsと環境問題 陸の豊かさも守ろう



15. 陸の豊かさも守ろう

⇒陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



世界各地の気候や環境が変化することで自然が破壊され、森林が失われつつあります。森林は空気や水、食料を提供してくれる私たちにとってなくてはならないものです。森林を守ることは、私たちの生活を守り現存する多種多様な動植物を守ることに繋がります。

陸地の自然や生物が抱える問題



現在、地球はかつてないほどの土地劣化、耕作地の損失に直面しています。

干ばつや砂漠化が深刻化し、農地が消失し、生計を森林に依存する16億人（世界のほぼ75%は土地劣化の直接的な影響を受けている）が苦しんでいるのです。陸生動植物・昆虫種全体の80%以上が森林を住処にしていることはご存知でしょうか。現在確認されている、8,300の動物種のうち、8%はすでに絶滅し、さらに22%が絶滅の危機にさらされています。

出典：国際連合広報センター



SDGs（持続可能な開発目標）は森林や湿地、乾燥地、産地などの陸地における生態系を保全し、2030年までに再び利用できる土地が回復できることを目標にしています。そのためには森林の持続可能な管理を推進し、砂漠化を食い止め、農地の消失を食い止めることは気候変動の対処には欠かせません。地球の陸地面積の25%~33%が森林で、そこは数百万の生物種にとっての生息地となり、私たち人間にきれいな水、豊かな水を提供してくれます。その森が今、年間約521万ヘクタールも失われています。これは1分間に東京ドーム2個分の森が無くなる計算だといえます。このままのスピードでいけば、豊かな森は100年後にはなくなるという予想さえもあります。

出典：林野庁

陸の豊かさを守るために私たちができることは

使い捨てをできるだけ減らす

まずは生活のなかで使い捨てを減らしてみましょ。例えば割り箸は、もともと使い道のない木材を無駄なく使えるように工夫された製品でした。しかし、最近は海外で安い木材を使って作られたものがほとんどです。外出時にマイ箸を持ち歩き、割り箸をもらう機会を減らすことが、必要以上に森の木が刈られることを防ぐ小さな一歩となります。

FSC[®]マークが付いた家具や雑貨を選ぶ

私たちは森の減少を直接止めることはできませんが、実は間接的に森を守る方法があります。それは森林認証制度「FSC[®]」のマークが付いた製品を選ぶこと。このマークは、正しく管理された森の木材や適格と認められたリサイクルの資源から作られた製品を表すマークです。私たち消費者が「FSC[®]」マークの付いた商品を選べば森林を管理する人々を応援し、環境を守ることを後押しできるでしょう。

野生生物だけでなく、人間にとっても森林や山地などの自然は大切な存在です。自然は酸素や水を生み出し、地球のあらゆる活動を維持しています。今すぐにでも対策が必要とされる地球の陸地を守っていくため、私たち自身が日々の行動や意識を少しでも変えることが必要です。



ecoちゃれんじ講座 中止のお知らせ

6月のecoちゃれんじ講座は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、中止とします。

福山市環境部版！
「くわいちゃんの芽」公式



Twitter

旬な環境情報を配信します！
たくさんフォローしてね！



エコショップ協議会の取組

エコショップ協議会では、毎月古紙の拠点回収を行っています。新聞や段ボールなどを持っていくと、ポイントを付与します。ポイントを集めると、景品と交換しています。

拠点場所（雨天決行）10時～16時

毎月第1水曜（ハローズ南松永店）

第2水曜（ハローズ新涯店）

第3水曜（ハローズ東福山店）

第4水曜（ハローズ駅家モール店）

回収実績の報告
2021年4月分

回収量 15,160kg
立木換算 約303本分

※立木換算：古紙1,000kg＝（直径14cm、高さ8m）約20本分に相当します。



ごみ分別ガイドブックや収集日程表等、各公民館・コミュニティセンター・支所・市民センター内の環境センター・本庁舎8階の廃棄物対策課・環境啓発課（リサイクルプラザ）へ配置しておりますので、必要な方は受取においでください。

ごみ分別ガイドブックはこちら↓



福山市リサイクルプラザ Fukuyama Recycle Plaza

〒721-0956 福山市箕沖町107番地2

TEL084-954-2619 / FAX 084-954-4418

E-mail kankyuu-keihatsu@city.fukuyama.hiroshima.jp

開館時間 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日）

福山市リサイクルプラザ

検索